

石炭記念館だより

第1号

発行 直方市石炭記念館
〒822-0016 福岡県直方市大字 直方692-4
TEL 0949-25-2243



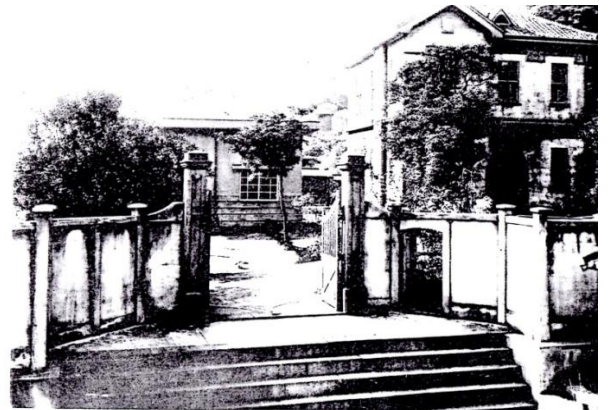
直方市石炭記念館を皆様にもっと知って
いただきたくて「石炭記念館だより」を発行
することに致しました。当館の歴史や見ご
ろをご紹介します。と思っています。
第一回目は、石炭記念館本館のご紹介です。



本館は、「筑豊石炭鉱業組合直方会議所」
として明治四三年七月に建設されました。石
炭鉱業組合とは、明治一八年十一月の福岡県
令「石炭鉱業人組合準則」に基づき設立され
た、日本で最初の組合連合団体です。

発足の経緯について説明していきましょう。
江戸中期から末期になると、黒田氏の治め
る福岡藩も小笠原氏の治める豊前藩も積極
的に炭鉱経営に乗り出し「仕組法」という一
種の統制経済を敷いて石炭の採掘、販売を統
制していました。ところが、明治二年(1869)

に「鉱山解放令」が發布され「自由堀」の時
代、つまり誰でも石炭を掘ることができ、売
ってよいということになりました。そうする
と大小さまざまな山師が筑豊炭田に殺到、
濫掘、濫売らんくつ らんばいがはじまり弊害が目立つようにな
りました。このままでは、石炭業の発展が
望めないと憂慮した行政は、明治一八年
(1885)、福岡県令の「石炭鉱業人組合準則」
を布達します。それにより、筑前国の遠賀・
鞍手・嘉麻・穂波の各郡と豊前国の連合組織
「筑前国豊前国石炭鉱業組合」が発足しまし
た。①鉱区の整理②技術の向上③販路の拡張
④輸送機関の完備⑤法令の改正といったこ
とが主な業務でした。後に「筑豊石炭鉱業組
合」と改称するのですが、筑前国豊前国を縮



所議會方直會業礦炭石豊筑

めて「筑豊」という呼称を使うようになった
のもこの頃からです。また、本事務所は石炭
の積出港である若松にありましたが、急速に
開発される筑豊の炭鉱で起こる諸問題に迅
速に対応するため筑豊炭田の中心的位置、直
方に「筑豊石炭鉱業組合直方会議所」が建設
されたのです。

木造瓦葺二階建ての洋風建築本館は、現在
でも入口のアーチ、室内の天井や手すりなど
往時の姿がそのまま残されており、直方
が誇る石炭産業発展を知る貴重な文化遺産
の一つです。

新緑まぶしい季節となりました。レジャ
ーに最適な気候ですね!! 石炭記念館の隠
れ名所「藤棚」をご存知でしたか? 別館裏に
あります。今がとても見頃です。



おかげさまで当記念館も七月二十日を
持ちまして、開館四十四周年を迎えます。
多くのお客様にご来館いただけるよう
なり感謝の気持ちでいっぱいです。石炭記
念館職員一同これからも喜んでいただけ
る企画を開催してまいります。皆様のご来
館心よりお待ちしております。

今後の予定

7月19日(日) 開館記念日入館料無料
催し物 石炭燃焼体験・火力発電実験